

開放型病床をもつ開かれた病院として、地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、心かよう安心の医療を目指します。

オープン・コム

No.16
2006.10

Open Com



Contents

- 02 プライマリケア研修教育センターの紹介
- 05 緩和ケアチーム始動
- 06 当院の実力：泌尿器科編
- 08 看護師大募集！
- 10 登録医さんこんにちは
- 12 患者情報室ラヴェンダーニュース（増刊）
- 13 患者相談室より
- 14 当院の活動内容を掲載している記事
- 18 各種教室
- 19 公開講座
- 20 大阪厚生年金病院のご案内

 **大阪厚生年金病院**
<http://www.okn.gr.jp/>

日本医療機能評価機構認定病院
大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者
「女性医師にやさしい病院評価」認定病院(第1号)

プライマリケア教育研修センターについて

はじめまして。救急部部長の大野城太郎と申します。2006年1月に設立したプライマリケア教育研修センター担当部長も兼務しておりますので、同センターの紹介をさせていただきます。

まず、「プライマリケア（Primary Care）」とは何か？ということですが、詳細は後述するといたしまして、最初にプライマリケア教育研修センターの目的、意義を説明いたします。

当センターの目的、意義は大きく以下の2点です。

1. 救急で受診される患者様に、真の総合診療＝プライマリケアでの確かな診療を行う。
2. 幅広く全人的な診断能力を身につける必要がある臨床研修医が、医療の基本であるプライマリケアを実践的に習得できる教育の場とする。

一般市中病院でプライマリケア教育研修センターを設立し、患者様と医師双方に貢献することを志向する病院は、日本の中では非常に稀です。

私はこのセンターを、プライマリケアと救急診療を融合させる、全国に先駆けた質の高い診療部として発展させていきたいと強く願っております。

各方面の方々におきましては、今後ともご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



救急部担当
プライマリケア診療部
部長
大野 城太郎

大阪厚生年金病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者様の立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 人を癒し、人を活かす職場であることを誇りとします。

看護部の理念

1. 看護師は、人間の生命と、人間としての尊厳および権利を尊重いたします。
2. 看護師は、人々の健康の増進、疾病予防、健康回復、苦痛を軽減することにおいて責任をもって看護活動を行います。
3. 看護師は、地域社会と連携を持ち、住民のニーズにあった看護を提供いたします。
4. 看護師は、常に看護水準を確認し、看護サービスの質的向上を図り、可能な限り高度な看護を提供いたします。

プライマリケア研修教育センターの紹介

「プライマリケアってなに？」

Primary Care（プライマリケア）とは、個々の患者の抱える問題の大部分に対処でき、かつ継続的なパートナーシップを築き、家庭及び地域という枠組みの中で責任を持って診療にあたる、そのような臨床医によって提供される、総合性と受診のしやすさを特徴とするヘルスケア・サービスである

（米国科学アカデミーの下部組織である Institute of Medicine（IOM）（1944年）の定義より）

開設年・月

2006年1月1日

場所

1階 救急室

当センターの目的

プライマリケアに必須の下記の能力、素養を身につけることを目標にした医師教育センターを目指す。

- 個々の患者様の抱える健康上の問題のほとんどを扱えるだけの幅広い臨床能力を有すること。
- 患者様がかかりたいと思う時に喜んで応じること、患者様とは長年にわたり打ち解けた人間関係を築けること。
- 疾病の診断や予防等について家庭や地域社会にも目配りができること。

*米国ではプライマリケア医の比率が高い州ほど住民の死亡率や癌、心血管疾患による死亡率が有意に低いという報告があります。これはプライマリケア医による予防医療的アプローチが効を奏しているためであろうと考えられています。

当センターの特色

① 診療内容

- 患者様のあらゆる健康に関する問題に対処します。
- 患者様に身近な立場で、いつでも親身に相談が受けられるような接遇を心がけます。
- 患者様の身体の状態だけでなく、心理・社会的側面（家庭・職場・地域環境）にも十分に配慮します。
- 症状や病気を限定しません。
- 予防効果のあることが証明されている診療にも積極的に介入します。
- 患者様の訴える症状や抱える疾病を聞いただけで、最初から診察するかしないかを決めません。
- 必要なときに、タイミングを適切にはかりながら、専門医（専門診療科）、保険・福祉の専門家に相談（コンサルテーション）します。

② 研修教育面

Adult Learning Theory（成人に特有の教育原理）に基づいた指導方法で、研修医教育を行なっています。

- 学んだことをすぐに実地に応用する。
- 個別の事実を記憶するよりも原理の理解を好む。
- 個々の学習者は独自の学習目標を要する。
- 評価されフィードバックされることを好む。



患者様、一般の方々へ 現時点では、従来の救急外来とほぼ同じ機能ですので、安心してご利用ください。



山崎 芳郎 副院長
プライマリケア研修教育センター長
臨床研修部部長事務取扱

メッセージ▶ 初期研修・後期研修を問わず、日常診療の基本であるプライマリケアの知識・技能を、主に救急診療を通じて取得できるように当センターの体制作りに努力していきます。

専門 内視鏡外科を含む消化器外科全般、消化器内視鏡

経歴(略歴)
1973年 大阪大学医学部卒業
1974年 泉佐野市民病院外科
1977年 大阪大学医学部附属病院外科
1982年 大阪厚生年金病院外科
1992年 一般外科担当部長
1996年 外科主任部長
2001年 副院長兼外科部長事務取扱 現在に至る

資格
大阪大学医学部臨床教授、兵庫医科大学臨床教授、外科学会専門医・指導医、消化器外科学会専門医・指導医、大腸肛門病学会専門医・指導医、消化器内視鏡学会専門医・指導医、内視鏡外科学会技術認定習得、外科学会評議員、内視鏡外科学会評議員、胃癌学会評議員、大腸肛門病学会評議員、食道学会評議員、近畿外科学会評議員



藤田 芳正 部長
プライマリケア診療部
内科(感染症・内科研修担当)

メッセージ▶ プライマリケアセンターの実質的な運営は、大野救急部長が行います。当院ではあらゆる急性期疾患を診療する場を『救急室』ではなく、『プライマリケアセンター』と呼ぶことにし、今年1月に発足しました。私は現在、さしずめ円滑な運用のための補助要員というところです。趣味はジョギング、今でも週3~5回走っています。

専門 内科一般(腎、感染症など)

経歴(略歴)
1984年 大阪大学医学部卒業
1989年 大阪厚生年金病院内科
1999年 内科部長(腎・感染症担当)
2000年 ICT主任 兼 院内感染予防対策委員会委員長
2005年 内科部長(感染症・内科研修担当)
2006年より現職

資格
日本内科学会認定内科専門医・指導医、日本腎臓学会認定専門医、日本透析医学会認定医、ICD(Infection Control Doctor)、大阪大学医学部臨床研修指導医養成講習会終了



正富 隆 部長
整形外科(災害外科担当)
救急部(災害救急担当)

メッセージ▶ 私のフィールドである手の外科は、専門分化の著しい整形外科にあっても骨・関節、神経・血管、筋腱・皮膚・爪など運動器の全てをカバーする、ある意味究極の general orthopedics であると自負しております。外傷のプライマリケアを救急部での診療で実践しながら generalist をめざす新進気鋭の先生方の教育に微力ながら貢献したいと思っております。

専門 手・肘の外科(スポーツ・リウマチ含む)、末梢神経・血管外科

経歴(略歴)
1985年 大阪大学医学部卒業
1988年 大阪大学整形外科
1991年 Institut Français de la Main, Paris, FRANCE 留学
1992年 大阪大学整形外科助手
1997年 大阪厚生年金病院整形外科
2003年より現職

資格
日本整形外科学会専門医、日本リウマチ学会専門医、日本リハビリテーション医学会認定臨床医、日本手の外科学会評議員、日本肘関節学会評議員



大野 城太郎 部長
救急部担当
プライマリケア診療部

メッセージ▶ プライマリケア・総合診療を通じて、医療をすることの喜びと誇りを知ってもらえればと思います。

専門 一般内科、感染症、膠原病(自己免疫疾患)

経歴(略歴)
1988年 奈良県立医科大学卒業
1991年 市立舞鶴市民病院
1996年 京都大学総合診療科入局
2006年より現職

資格
日本内科学会認定内科専門医・指導医、日本感染症学会ICD、アメリカ内科学会上級会員(FACP)、日本救急医学会救急科専門医、京都大学医学部臨床研修医指導医講習会修了、ニューキャッスル大学大学院公衆衛生学修士(2006年)



ヤン チ シン
梁 知身 医長
内科
プライマリケア研修担当

メッセージ▶ 患者さんにとって最適の医療が選択できるようお手伝いをしていきたいと思っております。

専門 一般内科、総合診療、予防医学、緩和医療

経歴(略歴)
1991年 京都大学医学部卒業
1997-1998年 WHO 国際共同研究センター(予防医学)
1999年 京都大学総合診療科
2006年より現職

資格
日本内科学会認定医、国際心臓病学会・循環器疾患予防ワークショップ修了、ハワイ大学・医学教育ワークショップ修了

スタッフ募集

スタッフ医師を募集しています。プライマリケア、総合診療をやってほしいという意欲的な方をお待ちしています。詳細については病院ホームページ <http://www.okn.gr.jp/> をご覧ください。



プライマリケアセンターでの研修を終えて

初期臨床研修医（1年） 山崎 早苗



救急ローテートに入って一ヶ月が経とうとしていますが、その短さを本当に実感しています。救急は的確な診断能力と瞬時の判断力が問われる場所だと思えます。研修でそれら2つの能力の大切さを知る一方で、たった1ヶ月間で身に付けられるような簡単なことではないと強く感じました。

この救急で痛感したことは問診の大切さです。初めて運ばれてくる患者様の情報は、通院歴のある患者様でない限りゼロです。その患者様の話に耳を傾け、訴えや症状から幅広く様々な鑑別を考慮して、ピンポイントで質問をしていくことの重要性。当初はその鑑別すら上げられずに、ただ患者様の訴えにのみ注意を払っていました。しかしそんなやり方では無駄な時間を費やし、患者様にもご迷惑をかけることになってしまいます。また患者様自身では気付かない症状を見逃す可能性もあるため、鑑別に上げられる病気で、特徴的な症状がないかを根気よく聞いていく必要があります。

鑑別が上がれば、その後は頭の方から足の先へと、すみずみまで丁寧に診察して異常を探します。先生方の診察は素早く、しかも大変丁寧です。逆に私はゆっくり診察しているにもかかわらず、指導医から指摘されることが多々あります。経験の差があるとはいえ、もっと自覚と責任をもって診察しなければいけないと反省することがしばしばです。また、採血やCTが必要かを調べるために検査をすることもありますが、問診と全身の診察によってある程度は診断できるということを改めて感じた1ヶ月間でした。

救急だけでは対応できないものは、関連各科にコンサルトしていただくことも多々あります。専門各科の高度な診断や治療法を学ばせていただけるのは、本当にありがたいことだと思います。院内紹介状を書くときには、自分の診断通りであれば安心できますし、症例の少ない専門的な診断名が返ってきた場合には、専門医の経験の深さ、知見の広さを直接見せていただいたように思えます。

1ヶ月間の救急ローテートももう終わりですが、1年後の一人当直ではもっと緊張するだろうと思います。しかし、2年目で様々な科を経験させていただくことで、考える力や全身を診る力を養う良い機会になるものと考えています。

最後になりましたが、救急での問診の大切さと全身をすみずみまで丁寧に診ることの大切さを教えて下さった大野部長をはじめ、いろいろなアドバイスや教科書に書いていないことも教えていただいた諸先生方、看護師の皆様、そしてこの頼りない研修医にご協力いただいた患者様方に感謝し、救急ローテートを終えたいと思います。ありがとうございました。

プライマリケア医を目指す研修医へのメッセージ・募集

当院プライマリケア研修教育センターの後期研修の主な目的は、まず以下の2項目です。

- ① 独力で責任ある内科全般および内科以外の疾患（プライマリケア医として患者から診察を要求されるもの）の初期診療と、適切な時期における専門医への紹介を行えるようになる。
- ② 年齢・性別・臓器・症状を問わずに、患者の疾患の診断と治療および予防に関する知識と技能を獲得し、相互啓蒙や後輩医師の教育に必要な知識・技能・態度を身につける。

詳細は募集要項をご覧ください。研修医採用についてのお問い合わせは下記まで。

大阪厚生年金病院 職員課 〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78
TEL: (06) 6441-5451 (内線2262・2263) FAX: (06) 6445-8900
E-mail: syokuinka@okn.gr.jp URL: <http://www.okn.gr.jp/>

緩和ケアチーム始動

当院では、これまで看護部、薬剤部などが中心となって緩和ケアに関する活動を行っていましたが、これを院内横断的な組織に発展し、2006年4月より緩和ケアチームが始動しました。チームは、以下の17名で構成されています。

オブザーバー 山崎（副院長） 高橋（副看護部長）

メンバー

小山（麻酔科）	土岐（看護師）
塚本（乳腺内分泌外科）	寺内（看護師）
脇本（産婦人科）	乾（看護師）
赤丸（外科）	広瀬（薬剤師）
梁（内科）	辻川（薬剤師）
手島（精神科）	玉置（管理栄養士）
金山（精神科）	向市（医療ソーシャルワーカー）
	山本（精神保健ソーシャルワーカー）

この他にも各病棟に緩和ケアの中心的役割を果たすリンクナースが配置され、緩和ケアチームと患者様の橋渡しの役割を担っています。

活動の中心は、毎週水曜日に行われる緩和ケア症例検討会と病棟回診です。

緩和ケアチームメンバーのうち小山、梁（身体的症状を担当）、金山（精神的症状を担当）、乾（緩和ケアを専門とする看護師）、広瀬（緩和ケアに関する服薬指導を担当）の5名を中心として行っています。

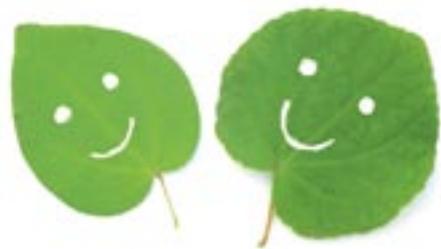
また、チーム全体での最初の活動として「癌疼痛治療マニュアル」を作成し、院内での癌性疼痛治療の統一とレベルアップを目指して頑張っています。

緩和ケアは従来、ホスピスや緩和ケア病棟などで末期癌患者様に対して提供されるものでしたが、これらの専門施設は数も少なく、また癌治療と並行して緩和ケアを受けることができませんでした。これに対して当院のような一般病院に設置される緩和ケアチームの対象となるのは末期癌患者様だけではなく、癌治療中の患者様の苦痛を取り除く役割もあります。

癌患者様と主治医との間に築かれた関係を大切にしながら、癌患者様やその御家族の苦痛を癒し、有意義で質の高い生活を送っていただけるよう努めていきたいと思います。



梁 小山 金山 乾 広瀬



診療内容
特色

診療対象疾患

悪性腫瘍	腎癌、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、尿道癌、前立腺癌、精巣腫瘍など
尿路結石症	腎結石、尿管結石、膀胱結石、尿道結石
排尿障害	前立腺肥大症、尿失禁、神経因性膀胱など
感染症	腎盂腎炎、膀胱炎、尿道炎、前立腺炎、精巣上体炎、亀頭包皮炎など
内分泌疾患	副腎腫瘍、副甲状腺機能亢進症（原発性・続発性）
小児泌尿器科疾患	先天性水腎症、膀胱尿管逆流症、停留精巣、陰嚢水腫、包茎など
慢性腎不全	腎移植（血液透析は腎臓内科が担当しています）
腎尿路外傷	

特色

- 常勤医 5 名は日本泌尿器科学会認定専門医で、うち 2 名は指導医です。
- 泌尿器科疾患全般の診療を行っています。
- 癌の治療は、手術、化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療を行っています。
- スタッフ一同でカンファレンスを行って診療方針を検討しています。
- 患者様に病状と検査・治療法を十分に説明し、同意のもとに診療を行います（インフォームドコンセント）。
- 合併症のある患者様の治療も、他の診療科と協力して積極的に行っています。
- 適応症例には患者様と相談の上で腹腔鏡手術も行っています（腎、副腎の手術）。
- セカンドオピニオンのご希望にも対応します。
- 特殊な専門性を必要とする疾患や新生児の手術などはしるべき病院を紹介させていただきます。
- 美容外科的な包茎手術や避妊目的のパイプカットは近隣の施設を紹介させていただきます。

お知らせ

平成 18 年 8 月から、大阪大学との連携のもとに生体腎移植を始めました。

診療実績

外来診療	新規患者数	1,356 名	
入院診療	入院患者数	471 名	
	手術件数（体外衝撃波結石破碎術を含めない）	199 件	
	開放手術	副甲状腺摘除術	11 件
		腎・尿管摘除術	7 件（悪性 4 件、良性 3 件）
		腎部分切除術	2 件
		腎移植術	1 件
		腎盂形成術	1 件
		膀胱全摘除術＋回腸導管	5 件
		膀胱全摘除術＋尿管皮膚瘻	3 件
		前立腺全摘除術	6 件
		尿失禁防止術	1 件
		陰嚢内容手術	10 件
	陰茎手術	4 件	
	腹腔鏡手術	副腎摘除術	1 件
		腎・尿管摘除術	13 件
内視鏡手術		経尿道的膀胱腫瘍切除術	87 件
		経尿道的前立腺切除術	32 件
	経尿道的尿管切石術	5 件	
	膀胱碎石術	3 件	
	尿道狭窄手術	2 件	
体外衝撃波結石破碎術件数	56 件（53 名）		
前立腺生検件数	121 件		

（平成 17 年 9 月 1 日～平成 18 年 8 月 31 日）

スタッフ紹介



小出 卓生 副院長

専門 泌尿器科全般
泌尿器がん・副甲状腺や副腎の内分泌疾患の手術治療
尿路結石症の予防治療・小児泌尿器科

経歴 1973年 大阪大学医学部卒業

資格 大阪大学医学部臨床教授
日本泌尿器科学会指導医・専門医
大阪大学非常勤講師



藤本 宜正 泌尿器科部長

専門 泌尿器科全般
腎移植、腎疾患・泌尿器がんの手術
腹腔鏡による鏡視下手術科

経歴 1983年 大阪大学医学部卒業

資格 日本泌尿器科学会指導医・専門医



松岡 徹 医長

専門 泌尿器科全般
泌尿器がんの臨床・経尿道的内視鏡手術

経歴 1996年 大阪大学医学部卒業

資格 日本泌尿器科学会専門医



蔦原 宏一 医師

経歴 2001年 熊本大学医学部卒業

資格 日本泌尿器科学会専門医

紹介 若手の泌尿器科専門医として、泌尿器科疾患すべてにおいて研鑽と実績を積み重ねている。手術・診療すべてに伸び盛りであり、精力的に病気に立ち向かっている。卒後年数からみても豊富な手術経験・診療経験を有する。



向井 雅俊 医師

経歴 2001年 愛媛大学医学部卒業

資格 日本泌尿器科学会専門医

紹介 若手の専門医として、泌尿器科全般の疾患の診療・治療に注力している。精力的な向上心と、豊富な経験症例に恵まれ、日々めざましい進歩を遂げている。



患者様、一般の方への メッセージ・お願い

- 大阪厚生年金病院の泌尿器科の歴史は古く、病院設立の2年後、1954年から泌尿器科の看板を掲げてきました。
- 当泌尿器科では、狭い泌尿器科対象疾患をさらに細かく専門化することなく、泌尿器科守備範囲の病気全体の診療に鋭意努力しています。
- 交通のアクセスも良く、大阪府はもとより広く近隣の府県からの患者さんも来院されています。
- 怖がったり、恥ずかしがったりせずに泌尿器科のご病気の心配があれば、早めにご相談ください。
- 受診の際には是非ともご自分のお体の問題や服用されているお薬の情報を紹介状としてご持参ください。手術や処置・検査に危険を及ぼすお薬が処方されている場合が多々ありますので、そのような危険性を避けるために必要です。
- 原則として予約制で診療していますが、予約をお取りでない患者様やセカンドオピニオンを求められる患者様の診療も予約診療の間に入ってきますので、予約時間通りに診療できないことがあります。この点は、ご了承ください。



かかりつけ医の先生への メッセージ・お願い

- 当院ではかかりつけ医との医療情報連絡を通じて、当院で行わなければならない診療とお近くのかかりつけ医にお願いできる診療の分業を、患者様のご負担と利便を考え推進しています。
- かかりつけの患者様が初めて受診される際には、地域医療連絡室を通じて予約をとっていただくようお願いいたします。

看護師大募集!

大阪厚生年金病院 看護部のご紹介



大阪厚生年金病院 看護部長
森口 直子

当院では、今年4月の診療報酬の改定を受けて、平成19年4月に看護職員配置7対1取得をめざしています。この基準を取得するためには、現在の看護師に加え大幅な増員が必要となります。患者様に満足していただける質の高い看護を提供するために、ぜひともこの基準を取得したいと考えています。スタッフ一人ひとりが、看護の専門性を高めるだけでなく、人間として成長する努力を惜しまず自己研鑽に努めています。また、病院としても個人のキャリアアップのためのサポート体制を整えています。当院への就職を希望される方お待ちしております。一緒にがんばりましょう。

充実した研修制度 (新人看護師研修制度・資格取得の推進)

特徴

臨床現場の万全の支援体制

子育て (女性職員) 支援

仕事と子育ての両立のために!

小学校在学までの子育て中の医師、看護師ともに勤務時間を短縮するなどしておおむね30時間程度働けば正職員として雇用します。当院では女性職員が働きやすくなるような支援をしております。

妊産婦の健康を考えています

勤務時間の短縮、フレックスタイム制、休憩時間の延長・増加、業務の制限など必要に応じた措置を行っています。

育児のための特別休暇

産前6週間、産後8週間の有給休暇、配偶者が出産時の有給休暇、子の看護のための有給休暇をはじめ、育児のための休業(3年間)、勤務時間の短縮、深夜業の制限、時間外勤務の制限など、働きながら育児をする職員をバックアップしています。

育児休業中の情報伝達

職員課から2ヵ月に1度の事務連絡時にニュースレター、広報誌、看護部からの連絡資料をお送りします。

院内病児保育

病児の保育室を設置しています。



大阪府
「男女いきいき・
元気宣言」事業者に
登録されました!!

駐車場の優先利用

子育て中の女性職員へ限られた職員駐車場を優先的に割り当てています。

職場復帰の支援

本人の希望を重視した配属部署の決定、またスムーズに復帰するためのオリエンテーションも充実しています。

キャリアプラン確立の支援

希望部署への優先的な配属、クリニカルラダー制度の活用、育児休業中の研修・講演会の連絡や希望者へのDVD貸し出しならびに資料送付など、充実した教育制度で意欲的な職員を応援しています。

職場風土の育成

両立支援の風土を育てるための管理者研修を実施しています。



7-2病棟 助産師 小西知子
(大阪厚生年金看護専門学校、大阪府立助産師学院卒)

私は2年間の育児休暇を取得しました。復帰のことを考えると一時期は「退職」もよぎったのですが…、長めに休みを取得した子どもとの時間もゆっくりとれた上「今まで働いてきたスタッフと働きたい!」という希望もかきました。復帰した当初は治療やシステムが変わっていたことで、戸惑いもありましたが、周りのスタッフに助けられながら続けることができています。

また、働き出してから子どもの病気が一番のピンチ! 保育所から呼び出しがかかるとドキドキしながら仕事をしたり、呼び出された時の仕事の段取りをつけることはひと苦労。そんな時、病児保育を利用すると、勤務中は仕事に集中できて安心です。子どもは保育、小児看護・医療のプロのみならず声をかけてもらったり、遊んでもらって安全に安心して過ごせているようです。



充実の新卒看護師教育

新採用者研修 (5日間・看護技術演習)
1ヶ月研修 (看護記録I)
3ヶ月研修 (事故防止対策・振り返り)
6ヶ月研修 (看護過程I)
8ヶ月研修 (感染予防・コミュニケーションスキル)
1年目研修 (ケーススタディ・点滴静脈注射)
6週間ローテーション研修
事例検討会 (2年目)

6週間ローテーション研修

6週間ローテーション研修は、全国で唯一の新人看護師研修制度です。看護師に必要な知識、技術を獲得できる研修です。研修場所であるICUや脳卒中センターでは、クリティカルケアをマンツーマンで学びます。しかも、研修期間は、有給保障。看護師としての自分を磨き、高めるために使ってください。私達は、新人看護師一人ひとりを確実に育てあげます。

期 間	採用年6月から翌年2月迄の間の6週間	
場 所	ICU	: 3週間
	脳卒中センター	: 2週間
	OP室	: 1週間
時 間	平日 8:00 ~ 16:45	
方 法	2~3名一組でローテーション	



中堅看護師には強みを!

- クリニカルラダー別の充実した教育計画
- スペシャリストによるエキスパートコース (2006年のコース受講者は延べ188名)
 スキンケアコース / 重症集中ケアコース / がん化学療法コース / 感染管理コース / 在宅看護コース



資格取得の推進

- 当院は認定看護師等の資格取得を目指し、がんばる看護師を応援しています。
- 有給保障による国内留学! キャリアアップの環境は万全です。
- その他、学会や院外研修参加も推進 (2005年度実績 120名)



やりたい看護が実践できる!

- 経験豊かな先輩とプリセプター
- 医療チーム
- 組織横断的に活動している専従の5名の認定看護師達のアドバイス
- 臨床研修医・認定看護師等の教育現場・共に育てあう教育的な組織風土
- 安全で支援体制が整備された環境

がん化学療法看護認定看護師
主任看護師 土岐 昌世



創傷・オストミー・失禁 (WOC)
看護認定看護師
主任看護師 清水加世子

看護のスペシャリスト!

認定看護師が活躍しています

当院では、認定看護師を目指すみなさんのために、有給保障による国内留学を行っています。

認定看護師は各々の専門性を活かし、患者様への直接的なケアのほかに、看護師全体の看護の質の向上を目的として研修会や技術研修を行っています。

感染管理認定看護師
主任看護師 柴谷 涼子

創傷・オストミー・失禁 (WOC)
看護認定看護師
外科病棟看護師 中西 由香

重症集中ケア認定看護師
ICU看護師 中村 明美

登録医さん こんにちは

大阪厚生年金病院の開放型病院登録医[※]のご紹介

※開放型病院登録医とは…当院の医療施設・設備を利用し入院治療等が必要になった患者様に当院医師と協力して治療を行う地域の診療所や医院の「かかりつけ医」の先生です。

あおやま医院

院長 青山 晃子

〒553-0005 大阪市福島区野田 6-5-41 -N-102

TEL 06-6462-3778

FAX 06-6462-3859

ホームページ <http://web.mac.com/aoyamaiin>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	-	○	○	-



- アクセス**
- 市バス「野田6丁目」下車、南へすぐ
 - JR環状線、阪神西大阪線「西九条」駅下車、東へ徒歩6分
 - JR環状線「野田」駅、地下鉄千日前線「玉川」駅下車、西へ徒歩9分

診療科目
内科/小児科/
放射線科/禁煙外来

往診
有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有



青山先生（中央）とスタッフの皆さん



このたび野田の地にご縁がありまして、200年に内科、小児科、放射線科で開業いたしました。

大阪厚生年金病院には開院当初から各種検査をはじめ、専門外来受診等で大変お世話になっております。特に小児の急性増悪患者さんにおきましては、いつも迅速に快く受け入れてくださり、心から感謝申し上げます。

これからも大阪厚生年金病院と病診連携を密に図りながら、心が通い合う暖かい医療をモットーに、地域の皆様のかかりつけ医としてスタッフ一同努力してまいります。

今後とも何卒よろしくお願いたします。

小山医院

医師 小山 高澄 医師 小山 貴子

〒554-0022 大阪市此花区春日出中 2-16-23

TEL 06-6461-2580 / 2680

FAX 06-6461-3304

ホームページ <http://www.koyamaiin.com/>

Eメール ramokos@silver.ocn.ne.jp

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
16:30~19:00	○	○	○	-	○	-



- アクセス**
- JR環状線、阪神西大阪線「西九条」駅下車、車で10分、バスで20分約1.1km

診療科目
内科/小児科/放射線科

往診
有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有(医院西隣に専用駐車場)



小山先生（右端）とスタッフの皆さん



当医院は開設以来58年目です。父の代から船上生活者やホームレス等健康保険未加入者にも診療に当たり、ボランティア精神旺盛な医院です。当医院は30年間で約3千人の患者を貴病院に紹介・お世話になり、大阪厚生年金病院が無ければ当医院存続はありえずとさえ言える程です。

大阪厚生年金病院の現スタッフの富士先生はじめ、片山・大槻・小出・桑山・田川・佐野・大野・桑田先生、他諸先生方には多大なお世話になり、患者共々ご迷惑をおかけしまして感謝の念に堪えません。

当院に登録をご希望される
かかりつけ医の先生方へ

開放型病院登録医申請手続きについては、地域医療連絡室までご連絡ください。

TEL.06-6441-5463 (直通)

医療法人 村川医院

院長 村川 浩一

〒554-0002 大阪市此花区伝法 2-4-29

TEL 06-6463 -1222

FAX 06-6463 -1822

ホームページ <http://www.murakawa-iin.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~12:30	○	○	○	○	○	○
17:00~20:00	○	○	-	○	○	-



診療科目
内科/循環器科/小児科

往診
有

休診日 日曜・祝日

駐車場 有(1台)

● 阪神西大阪線「千鳥橋」駅下車、徒歩5分

アクセス



村川先生（前列）とスタッフの皆さん



当院は地域のかかりつけ医をめざして診療を行っております。患者さんにはそれぞれの診察において是非納得して帰っていただくということを院長だけでなくスタッフ全員が心がけています。その中で専門医療の必要な方を早期に適切な病院にご紹介するということをかかりつけ医としての責務と考えており、大阪厚生年金病院には各科にわたりご紹介させていただいております。今後も地域のかかりつけ医として地域医療に貢献していきたいと考えております。

診察予約は
4804 -3181 です

渡辺医院

院長 渡邊 裕之

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-5-58

TEL 06-6441-5323

FAX 06-6441-1187

Eメール Osc6ty1j3255cOn@ezweb.ne.jp

診療時間	月	火	水	木	金	土
17:00~21:00	○	○	○	○	○	○

特色 日本内科学会認定内科専門医
日本呼吸器学会認定呼吸器専門医・指導医



診療科目
内科/禁煙外来

往診
日曜のみ有

休診日 日曜・祝日
年末年始・夏期
*日曜午前予約診療のみ

駐車場 無

● JR東西線「新福島」駅下車、3番出口より徒歩1分

アクセス



渡邊先生（中央）とスタッフの皆さん



はじめまして渡邊裕之と申します。専門は呼吸器内科で喘息や肺気腫などの呼吸器疾患の診療に従事した後、平成16年福島4丁目が開業致しました。また、現在は大阪厚生年金病院においても非常勤医師として勤務させていただいております。医院は今のところ夕診だけです日曜の午前中は予約診もおこなっております。病気のことや健診、予防接種、睡眠時無呼吸症候群に関することなどお気軽にご相談ください。なお、保険診療による禁煙指導も行っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

患者情報室「ラヴェンダー」ニュース(増刊)

～通常号は随時1階 図書返却BOX上に置いてあります～

【患者情報室とは】

患者様が医療の情報を得たり、自己学習の場として、また、病院内でゆったりとした気分になっていただける空間として無料でご利用できる施設です。

OPEN 平日9 - 14時

場所 別館1階(スポーツ医学センター横)

ラヴェンダーがOPENして1年がたちました。 活動の様子をご紹介します。



ラヴェンダーのカウンター

こちらのカウンターでは、図書館司書などの資格をもつスタッフが情報を探すお手伝いをしています。

「どの本を見たら良いのかわからない…」 「こんなことしらべられたらいいな…」 という疑問、質問がありましたら、お気軽にお声をおかけください。

患者さまがお調べになった内容は、今後の運営のために、質問分野の傾向を数字で公開する可能性があります。その他の情報については徹底して管理いたしますので、ご安心ください。



ラヴェンダーにある資料

①医療書、パンフレット

当院ドクターが執筆、推薦された医療書やパンフレットはもちろん、ラヴェンダーには幅広い医学書を置いています。医学生用の図書は、「この病気はどんな病気なのだろう、どんなふうに治療がすすんでいくのかな」という事を調べる時に役立つかもしれません。また、パンフレットは各疾患の治療、療養に関することが1冊に簡潔に書かれており、大変わかりやすく、患者さまにも好評です。

ラヴェンダーではパンフレットを無料でお配りし、取り寄せもいたしております。

②闘病記

先輩患者さまが綴った闘病中の手記を、健康情報棚プロジェクト様のご協力により、収集しております。これだけ闘病記がそろっている図書室は全国でも数箇所しかありません。どうぞどなた様もご利用ください、貸し出し可能です。

③一般書

患者様からのご寄贈により、約1千冊の一般書を揃える事ができました。貸し出し可能ですので、外来患者様も、公共の図書館を利用するようにお気軽にお越しください。

本の状態もよく、ベストセラーの図書、写真集など、公共図書館でなかなか手に入らないものもラヴェンダーで借りることができます。



病棟巡回サービス

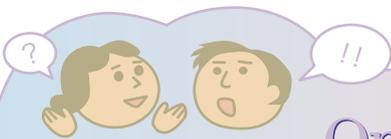
毎週2回、各病棟にラヴェンダーのスタッフが出張しております。ベッドサイドにてお声をかけさせていただいておりますので、一般書の貸し出し、医療書の問い合わせ、ボランティアへの依頼(お買い物)などお気軽にお声をおかけください。目のご不自由な方への朗読サービスもおこなっております。

小児図書サービス

外来(小児科、産婦人科、耳鼻科)、小児科病棟に、ラヴェンダーからの絵本を配架しています。今後も、お子様が元気を取り戻しやすい環境づくりにお役に立てるよう、ラヴェンダーは様々なサービスをおこなっていきたくと思っています。

◆小児科外来看護師さんからの◆ メッセージ

プレイルームで遊んでいた子供たちも、診察の待合室に入ると「絵本読んで」と親御さんの膝の上ののり、読んでもらっている姿をよくみかけます。戦隊シリーズ、しかけ絵本などが好評のようです。ラヴェンダーのスタッフの方にはいろいろな種類の本を用意していただき、定期的に交換もしてもらっているので、常にあたらしいものがある状態で、子供たちにもいろいろな出会いがあることでしょう。ラヴェンダーのスタッフのみなさん、これからもよろしくお願ひします。



患者相談室 Open Win/d より オープン・ウィンド

本年3月から7月まで投書箱「みなさまの声」等に寄せられた件数は26件で、患者相談室に寄せられた相談等は70件です。その中の苦情及びご意見の一部をご紹介します。

Q 外来の診察呼び出しが始まったのが9時20分、投薬のみの呼び出しが9時35分、その間断わりの案内もなし。勤務怠慢である。

A 外来診察は9時から開始することになっています。医師・看護師等に時間厳守を徹底するように再度指導いたしました。

Q 採血時内出血し、紫色に腫れあがった。採血ミスではないか。

A 採血後、多少内出血を伴う場合がありますが、これは採血ミスではございません。この腫れは、通常2週間程度で消失します。

採血後は揉まずに針を刺した場所を5分以上、指で圧迫して止血してください。よく押さえて血を止めるのは、青あざや皮膚の下に血の固まり（皮下血腫）が生じることや衣服を汚すのを防ぐためです。普段血が止まりにくい方や、血液を固まりにくくするお薬（ワーファリン、アスピリンなど）を内服しておられる患者様は、さらに長めに圧迫していただく必要があります。同様のお願いを、採血時に採血担当者から直接口頭で、また採血室掲示ポスターでもご案内していますのでご参照ください。ご不明な点は採血室にご相談ください。

Q 外来更衣室に「靴べら」がないのが困ります。

A ご不自由をおかけいたしました。外来・検査室の実態調査を行い、靴を脱ぐ更衣室には全て「靴べら」を備え付けました。

Q 再診機台の前に立って操作しようとしていたらボランティアの人が後ろに音もなく来て腕を伸ばしスイッチを押すが、有難迷惑。

A 大変申し訳ございませんでした。ボランティアさんには、患者様が必要とするサービスを提供していただくようお願いいたしました。

ご注意ください

当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて

平成18年1月より、**整形外科の初診は原則として他医療機関からの紹介患者様についての診療**とさせていただきます。

ご受診の際は、先ずかかりつけの先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者様からの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

TEL (06) 6441-5463 (直通)
(土日祝日を除く am 9:00 ~ pm 5:00)

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますのでご了承くださいませようお願いいたします。

再診につきましても、同じくすべて予約制とさせていただきます。



各種教室

両親学級

問 申 大阪厚生年金病院産婦人科外来 ☎06-6441-5451 (内線 2279)

- 日 程／毎月第 1、2、3 水曜日
- 場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- 時 間／午後 1 時 30 分～3 時 30 分
- 費 用／1,000 円 (3 回分)



子どもの健康教室

問 大阪厚生年金病院小児科外来 ☎06-6441-5451 (内線 2283)

- 日 程／各開催日、テーマなどについては確定次第、院内に掲示いたします。
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、どなたでも参加できます。直接お越しください。
- 内 容／こどもの病気の解説に加え、日常生活での病気の対処法・注意点や病気進行の予防法についてわかりやすく説明いたします。

腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院血液浄化センター ☎06-6441-5451 (内線 2667)

- 費 用／無 料
- 方 法／事前申込不要、直接お越しください。

開催日	時 間	場 所	テ ー マ	対 象	担 当
11月25日(土)	11:00～12:00	当院2階 第1会議室	慢性腎不全の食事療法 (たんぱく制限の工夫) 冬の食事の工夫	主に慢性腎不全患者様(保存期)	栄養部
1月25日(木)	13:30～14:30	当院2階 第1会議室	腎臓病と薬	主に慢性腎不全患者様(保存期)	薬剤部
2月22日(木)	13:30～14:30	当院2階 第1会議室	腎臓病と検査 (データの読み方)	主に慢性腎不全患者様(保存期)	検査部
3月22日(木)	13:30～14:30	当院2階 第1会議室	透析療法について ①「血液透析の実際」 ②「腹膜透析の実際」	主に慢性腎不全患者様(保存期)	医師 看護師

〈院外会場〉

11月5日(日)	13:30～15:30	グランキューブ大阪 (大阪国際会議場)*	～医師からのお話し～ ～栄養士からのお話し～	透析患者様 慢性腎不全患者様(保存期)	医師 栄養部
----------	-------------	-------------------------	---------------------------	------------------------	-----------

※ グランキューブ大阪(大阪国際会議場) は、右ページ(p.19) アクセス図をご参照ください。

糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院内科外来 ☎06-6441-5451 (内線 2274)

- 時 間／午後 2 時～4 時
- 方 法／事前申込不要、
直接お越しください。
- 費 用／無 料

開催日	場 所	テ ー マ	担 当
11月2日(木)	当院2階第1会議室	インフルエンザの季節です! 糖尿病と感染症 糖尿病と歯の健康 外食時の一工夫	医師 看護師 歯科衛生士 管理栄養士
12月7日(木)	当院2階第1会議室	動脈硬化とは 毎日しよう、足の手入れ 予防対策ってあるの? 血液をサラサラにする動脈硬化の薬	医師 看護師 薬剤師
1月	お休み		
2月1日(木)	当院2階第1会議室	未 定	医師 看護師 管理栄養士



公開講座

どなたでも参加できます

歯科公開講座

問 大阪厚生年金病院歯科口腔外科外来 ㊟ 06-6441-5451 (内線 2286)

- 費用/無料
 - 場所/当院2階 第1会議室
 - 方法/事前申込不要、直接お越しください。
- ※開催内容については確定次第、院内に掲示いたします。

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院内科外来 ㊟ 06-6441-5451 (内線 2274)

- 費用/無料
- 方法/事前申込不要、直接お越しください。

開催日	時間	場所	テーマ	担当
12月21日(木)	13:00~15:00	当院2階 第1会議室	胃腸病管理のエッセンス	道田部長
1月20日(土)	14:00~16:00	当院2階 第1会議室	ウイルス性慢性肝炎のインターフェロン治療	片山部長

消化器病懇話会新聞

2006年9月30日コミュニティプラザにて、肝がんをテーマにした消化器病懇話会が開催されました。30名以上のたくさんの方に出席して頂き、有意義な会にすることが出来ました。

受付です



準備中

五感をいかに使って、がんと前向きに向き合うか！をテーマに、アロマあり、温泉あり、音楽あり、食物あり、前向きイメージ作りありの懇話会でした。比較的身近なところでの話となったためもあり、質疑応答も活発で、新鮮な懇話会となりました。

今後も、新しい医学知識と身近な問題にも目を向けて、懇話会を開催していきたいと思っております。次回も乞うご期待！

第11回 股関節教室

問 大阪厚生年金病院予約センター ㊟ 06-6441-5451 (内線 2153)

- テーマ/未定
- 講演者/増原建作 (当院整形外科人工関節担当部長)
- 日程/来年2007年6月24日(日)
- 時間/午後1時~4時
- 費用/無料
- 場所/グランキューブ大阪10F大ホール*
- 方法/当院1階予約センター窓口で事前にお申し込みください。

*申し込み受付は2007年4月2日(月)からです。受付時間:平日8:30~17:15

※ **グランキューブ大阪(大阪国際会議場)** は、下記アクセス図をご参照ください



院内の公開症例検討会

対象: 医療従事者

乳腺疾患カンファレンス	第1 木曜日	3階ドック休憩室	17:30~19:00
	第3 木曜日	2階第2会議室	17:30~19:00
手の外科診療班症例検討会	第1 金曜日	2階第1会議室	19:00~21:00
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日	4階カンファレンス室	17:00~18:30
婦人科腫瘍症例検討会	第4 木曜日	2階第2会議室	17:00~19:00
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日	看護学校視聴覚室*	18:00~19:00

院内で行われる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。恐縮ですが、開催日の1週間以内に地域医療連絡室(TEL 06-6441-5463)にご確認ください。

※ **看護学校** は、右記院内図をご参照ください

看護部主催公開講演会

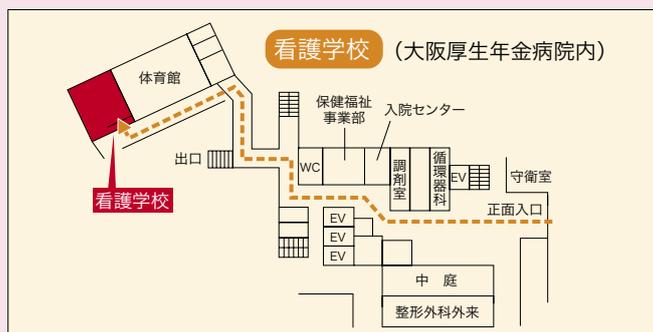
対象: 医療従事者

問 大阪厚生年金病院(看護部:高橋) ㊟ 06-6441-5451(代)

- 時間/17時30分~19時00分
- *詳細・申し込み方法については後日関連医療施設宛に発送予定です。

開催日	場所	テーマ
2007年2月7日(水)	看護学校視聴覚室*	看護倫理について

※ **看護学校** は、下記院内図をご参照ください



外来診療 受付時間

8:30~11:30 (土・日・祝日を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をさせていただきます。

一般病棟 面会時間

12:00~21:00 平日(月~金)

10:00~21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者様からのFAXお申し込みはできません。患者様はかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域医療連絡室 (診療予約)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター (検査予約)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- プライマリケア教育研修センター(救急部)
- 内科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ外来
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/> でご覧になれます
※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします

リウマチ外来

問 整形外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者様の状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診(月曜日)、再診(月・火・木・金曜日)

集中治療室(ICU)

大手術後、院内重症患者様を集中的に治療する部門です。
救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者様等を受け入れ、治療しています。

救急部

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者様を受け付け、24時間手術可能です。
小児、産婦人科の急患も受け付けます。

内視鏡センター

問 TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5463 FAX (06) 6441-0512

患者様の治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

保健福祉事業部 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者様、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。

退院後の療養施設の紹介や、介護支援も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

スポーツ医学センター

問 (06) 6441-5451 (内線3101)

月~土の9:00~17:00

E-mail: spo-cen@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。
安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

申 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとりください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック

問 ドック相談室

TEL (06) 6441-5451

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 入院センター TEL (06) 6441-5451

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

新生児センター(NICU)

問 小児科当直医

TEL (06) 6441-5451 (代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院も受け入れ、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム

問 かかりつけ医の先生専用



地域診療所・助産所のシステム登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来

問 医事課

TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診療日) 毎週水曜日(受付時間 8:30~11:30)

(診療科) 内科、皮膚科、産婦人科、小児科、眼科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

申 当外来をご希望の女性患者様は、医事課受付でその旨をお申し付けください。

女性がん検診

問 産婦人科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週金曜日 午後2:00~午後3:40

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日8:30~17:00)

乳がん検診

問 乳腺・内分泌外科外来

TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日8:30~17:00)



交通のご案内

- JR東西線
「新福島駅」下車(出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 市バス
大阪駅前 79 →「福島西通」下車
大阪駅前 55 →「堂島大橋北詰」下車
大阪駅前 53 →「堂島大橋」下車
- タクシー
「大阪駅」より約10分

日本医療機能評価機構認定病院/大阪府「男女いきいき・元氣宣言」登録事業者/「女性医師にやさしい病院評価」認定病院(第1号)

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp

この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで